

「重要荷物」扱いの宅急便を受け渡しの際 の認証について

株式会社フュージョンシス

1. 簡易版(なりすましを防げないバージョン)

1.1. 前提条件

あらかじめ「重要荷物」扱いの宅急便を受取人になりうる可能性のあるものは PC または携帯のメールアドレスを登録する。

差出人からこの受取人に対して荷物が送られたとき、次の一連の動作が起こる。

1.2. 荷物の受け取り口が決まっている場合

- ✓ 宅急便会社はワンタイムパスワードを発生させる。
- ✓ 宅急便会社は受取人の PC または携帯向けにワンタイムパスワードを送る。
- ✓ 宅急便会社は受け取り口に同じワンタイムパスワードを送る。
- ✓ 受取人はこのワンタイムパスワードを持って受け取り口に向かう。
- ✓ 受け取り口ではこのワンタイムパスワードを確認できれば、受取人に荷物を渡す。

1.3. 配達員が荷物を配達する場合

- ✓ 宅急便会社はワンタイムパスワードを発生させる。
- ✓ 宅急便会社は受取人の PC または携帯向けにワンタイムパスワードを送る。
- ✓ 荷物にワンタイムパスワードをバーコードまたは数字の並びを添付する。
- ✓ 配達員はこのワンタイムパスワードを確認できれば、受取人に荷物を渡す。

1.4. 長所

システム構成が単純である。
携帯や PC で特別なソフトウェアを必要としない。

1.5. 短所

なりすましの危険性がある(ワンタイムパスワードが第三者に漏洩した場合、その第三者

がパスワードを示せば、荷物を受け取れてしまう)。

1.6. 備考

この説明では、受取人が荷物を受け取ったことを知らせる通知が差出人に行かないが、上を少し変えると、受取人が荷物を受け取ったことを知らせる通知が差出人に行くようにすることができる。

2. 高級版(なりすましを防ぐバージョン)

2.1. 前提条件

携帯だけを対象にする。あらかじめ「重要荷物」扱いの宅急便を受取人になりうる可能性のあるものは携帯のメールアドレスを登録する。また受取人は宅急便会社に4桁の暗証番号を教える。取引の開始前には、あらかじめ受取人は携帯用の i-appli をダウンロードし、自分の携帯で使えるようにしておく。

差出人からこの受取人に対して荷物が送られたとき、次の一連の動作が起こる。

2.2. 荷物の受け取り口が決まっている場合

- ✓ 宅急便会社はワンタイムパスワード(3桁程度の数字)を発生させる。
- ✓ 宅急便会社は受取人の携帯向けにワンタイムパスワードを送る。
- ✓ 受取人は i-appli を起動し、自分の4桁の暗証番号を入力する。
- ✓ 受取人はメールで送られてきた、ワンタイムパスワードを入力する。
- ✓ i-appli は4桁の番号とこの数字から新たな数字の列(これを鍵と呼ぶ)を発生させる。
- ✓ 宅急便会社は受取人の暗証番号を知っているため、ワンタイムパスワードと暗証番号から i-appli が使っているのと同じアルゴリズムを使って鍵を発生させる(この鍵は受取人の i-appli に表示されているものと同じはずである)。
- ✓ 受取人はこの鍵を持って受け取り口に向かう。
- ✓ 受け取り口ではこの鍵を確認できれば、受取人に荷物を渡す。

2.3. 配達員が荷物を配達する場合

- ✓ 宅急便会社はワンタイムパスワード(3桁程度の数字)を発生させる。
- ✓ 宅急便会社は受取人の携帯向けにワンタイムパスワードを送る。
- ✓ 宅急便会社は受取人の暗証番号を知っているため、ワンタイムパスワードと暗証番

号から i-appli が使っているのと同じアルゴリズムを使って鍵を発生させる(この鍵は受取人の i-appli に表示されているものと同じはずである)。

- ✓ 宅急便会社はこの鍵を受取人宛ての荷物に添付する。
- ✓ 配達人が来たら(あるいは来る前でもよい)、受取人は i-appli を起動し、自分の 4 桁の暗証番号を入力する。
- ✓ 受取人はメールで送られてきているワンタイムパスワードを入力する。
- ✓ i-appli は 4 桁の番号とこの数字から新たな数字の列(これを鍵と呼ぶ)を発生させる。
- ✓ 配達人はこの鍵を確認できれば、受取人に荷物を渡す。

2.4.長所

なりすましの危険性が低い。

2.5.短所

i-appli を必要とする。

手続きがやや煩雑。

2.6.備考

・この説明では、受取人が荷物を受け取ったことを知らせる通知が差出人に行かないが、上を少し変えると、受取人が荷物を受け取ったことを知らせる通知が差出人に行くようにすることができる。

・鍵の発生のおさせ方は複雑度を高くし、なりすましを著しく困難にできる。